

# ACTi NVR 3.0

ユーザー マニュアル

バージョン 3.0.02

2012/11/05



**ACTi**  
Connecting Vision

# このマニュアルについて

## 対象読者

---

このマニュアルは、NVR 監視システムを使用してアクティビティの監視やセキュア ゾーン  
の巡回、ビデオ データの検索、アラームの管理などのセキュリティ タスクを実際  
に実行する  
エンド ユーザー向けです。読者は基礎的な操作スキルを有することに加え、**システム管理者**  
によって定義される異なるユーザーの役割に基づいたアクセス権限に応じて、**主要機能にア  
クセスする権限も持っている必要があります。**

このソフトウェアおよび本書に関する更新またはリリース情報については、ACTi 社 Web サ  
イト：<http://www.acti.com/nvr3> のビデオ管理システムのセクションをご確認ください。

## 概要

---

このマニュアルには、システム全体のモニタリングと録画の再生に必要な情報が記載されてい  
ます。本書は次のセクションから構成されています。

- **ログイン**では、NVR サーバー システムに異なるクライアントとしてログインする方法を  
説明します。
- **NVR ユーザー インターフェースの概要**では、ユーザー インターフェースのコンポーネ  
ントおよびモジュールの機能について説明します。
- **ライブ ビュー**では、希望のチャンネルの追加と、ライブ ビュー画面でのカスタマイズ  
したライブ ビュー レイアウトのアレンジ方法について説明します。
- **モニタリング**では、システム アラートとステータスの見方、ライブ ビュー PTZ 操作  
の実行、スナップショットの撮影、手動録画の実行方法について説明します。
- **再生**では、同期再生の実行と、NVR サーバー システムからのファイル エクスポートの  
方法について説明します。

## 関連ドキュメント

---

このマニュアルは、ライブ ビュー操作、再生、ビデオ検索、NVR サーバーからのファイル エクスポートなどの操作方法に重点を置いているため、システム管理者向けのシステム インストールおよび構成に関する情報は非常に限られています。NVR システムのセットアップに関する説明が必要なシステム管理者および エンド ユーザーは、最新版の ACTi NVR 3.0 管理者向けマニュアルを ACTi 社 Web サイト <http://www.acti.com/nvr3> から入手してください。

## テクニカル サポート

---

テクニカル サポートまたはご意見は、弊社 カスタマー ヘルプ デスク プラットフォーム <http://www.acti.com/CHD> から技術者にお問い合わせください。

## 本マニュアルで使用する凡例

次に本マニュアルで使用する凡例を示します。

- **太字**: 太字の活字書体は、キーワード、NVR の主要機能、またはセクションや欄のタイトルに使用されます。
- *斜体*: 斜体の活字書体は、ファイル名または場所を示すパスに使用されます。
- 下線: 下線の活字書体はドキュメント名またはハイパーリンクに使用されます。
- 「**太字**」: かつこで括られた太字はボタンやオプション項目の名前を示します。

注意事項は次のボックス内に記載されています。ボックスの各タイプが異なる目的またはシステムにおける重要度の違いを表しています。

### 重要な注意事項

このボックス内に記載されているのは**重要な注意事項**です。この注意事項は、特定の機能を正しく動作させるために、またはシステムに破損を生じる可能性がある潜在的な問題を防止するために重要です。この注意事項をお読みになり、必ず指示に従ってください。

### 注意事項

このボックス内に記載されているのは**注意**です。注意事項は、特定の手順に従わないと何が起るか等、現在の操作について知る必要がある不可欠な情報を示します。

### ヒント

このボックス内に記載されているのは**ヒント**です。ヒントは、通常特定の条件に対して、簡単にまたは迅速に目的を達するための別の方法を提示します。

# 法律上の注意事項

## 免責条項

---

- 本書に含まれる情報は一般的な情報提供を目的とするものです。ACTi 社は本書に含まれる誤り、または本マニュアルの提供、実施、使用から生じた偶発的、または結果的損害に対して責任を負いません。
- 本書に含まれる情報は予告なく変更されることがあります。

## 著作権

---

Copyright ©2003 -2012 ACTi Corporation All Rights Reserved.

## 商標

---

- ACTi Connecting Vision およびそのロゴ  **ACTi** Connecting Vision は、ACTi 社の登録商標です。
- Microsoft® および Windows® はマイクロソフト社の登録商標です。  
本書において使用されるその他一切の製品名または社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標である可能性があります。

# 目次

## 1 このマニュアルについて 2

対象読者 .....	2
概要 .....	2
関連ドキュメント .....	3
テクニカル サポート .....	3
本マニュアルで使用する凡例 .....	4

## 2 法律上の注意事項 5

免責条項 .....	5
著作権 .....	5
商標 .....	5

## 3 目次 6

## 4 概要 9

ACTi NVR サーバー / クライアント アーキテクチャ .....	9
--------------------------------------	---

## 5 システムへのログイン 10

<b>Internet Explorer</b> ブラウザから NVR 3.0 サーバーにアクセスする .....	10
サーバー コンピュータから .....	10
ログイン .....	11
アカウントとパスワードの入力 .....	11
UI 言語の変更 .....	11
ログイン情報を記憶する .....	11
自動ログインの設定 .....	11
<b>NVR3</b> ワークステーションから NVR 3.0 サーバーにアクセスする .....	12
ログイン .....	12
サーバー IP とサーバー ポート .....	12
初期画面の選択 .....	12

## 6 NVR ユーザー インターフェースの概要 13

NVR 常駐ツールバー.....	13
NVR メイン モジュール画面.....	15
ライブ ビュー.....	1
再生.....	1
セットアップ.....	15

## 7 ライブ ビュー 16

ライブ ビューを見る.....	17
ビューの選択.....	17
カメラの選択.....	18
デバイス リスト.....	18
チャンネルの削除.....	19
すべてのチャンネルの削除.....	19
ビューの巡回を有効にする.....	20

## 8 システムのモニタリング 21

システム アラートとチャンネル ステータスを知る.....	21
チャンネル ステータス.....	21
イベント パネル.....	22
即時イベント再生.....	23
ポップアップ イベント再生.....	24
ホットスポット ウィンドウ.....	24
ライブ ビューの操作.....	25
マップ上でミニ ライブ ビュー ウィンドウを表示する.....	25
音声入力の音量を調節する.....	26
音声信号の送信.....	26
デジタル出力デバイスのトリガー.....	27
チャンネルの即時再生を見る.....	28
手動録画.....	28
ライブ ビュー映像のスナップショットを撮影する.....	29
デジタル PTZ.....	29
PTZ パネルからの光学 PTZ (パン/チルト/ズーム) 操作.....	30
チャンネルの光学 PTZ (パン/チルト/ズーム) ナビゲーション.....	31

## 9 再生 32

---

再生 UI の紹介.....	32
再生方法.....	33
ビデオ ソースの追加.....	33
不要なチャンネルの削除.....	33
時刻バーでの検索.....	34
イベント タイプの表示.....	35
イベント タイプのハイライト色.....	35
再生コントロール.....	35
夏時間機能をオンにする.....	35
再生でのデジタル ズーム.....	36
フィルタリングによる検索.....	37
検索結果の表示.....	38
再生ビューのスナップショットを撮影する.....	39
録画のエクスポート.....	40
時刻バーでエクスポートされたビデオのセクションを定義する.....	40
ビデオ エクスポート設定を設定する.....	41

## 概要

ACTi NVR 3.0 は、分散型ネットワーク ビデオ監視ソリューションに完全な機能性を提供する Windows ベースのソフトウェアです。このソフトウェアは、ローカルまたはリモート ネットワークから最大 **64** 台の ACTi ビデオ ストリーミング デバイスの中央一元管理、リアルタイムのモニタリングと録画をサポートしており、ルールベースのサービスで複数のスケジュールやイベントをトリガーすることができます。

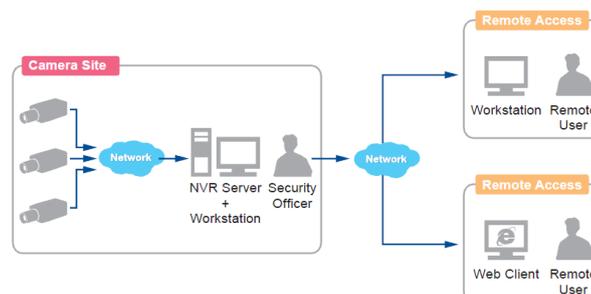
ACTi NVR 3.0 は、分散型ネットワーク ビデオ監視ソリューションに完全な機能性を提供する Windows ベースのソフトウェアです。このソフトウェアは、ローカルまたはリモート ネットワークから最大 **64** 台の ACTi ビデオ ストリーミング デバイスの中央一元管理、リアルタイムのモニタリングと録画をサポートしており、ルールベースのサービスで複数のスケジュールやイベントをトリガーすることができます。

## ACTi NVR サーバー / クライアント アーキテクチャ

ACTi NVR 3.0 は典型的な Web ベースのサーバー/クライアント システムです。ビデオ監視システム アーキテクチャにおいて、**サーバー**はビデオ管理サービス プロバイダとして停止しないサービスをクライアントに提供するため、年中無休を目指して稼動しています。一方**クライアント**はサーバー プログラムと同じコンピュータにある（ローカル）、または別のコンピュータにある（リモート）場合があり、**サーバー**に対してビデオ ストリームの監視や録画の再生をリクエストします。**サーバー**は（インストールされた）**サーバー コンピュータ**が起動されると自動的に動作を開始し、管理者によるログインの必要なくバックグラウンドで動作します。TCP/IP ネットワーク上で HTTP プロトコルを通してリクエストに応じ複数の**クライアント**に対してサービスを提供します。

NVR 3.0 システムには 2 つのクライアントのタイプがあります。**Web クライアント**と**ワークステーション クライアント**です。Web ブラウザから、あるいはワークステーションからの接続を問わず、ユーザーは同じユーザー インターフェースと NVR 機能を利用できます。

- **Web クライアント**: NVR サーバーにアクセスするための Web バージョンのインターフェースです。クライアント プログラムを一切インストールする必要なくクライアントとなることができます。NVR サーバーへのログインは、IE ブラウザ経由で Web サイトを開くだけです。
- **ワークステーション クライアント**: ブラウザを使用せずに NVR サーバーにアクセスするためのクライアント アプリケーションです。ワークステーションにはユーザーと NVR サーバー間のインターフェースを提供する一連のプログラムが含まれています。



## システムへのログイン

NVR 3.0 システムには 2 つのクライアントのタイプがあります。Web クライアントとワークステーション クライアントです。

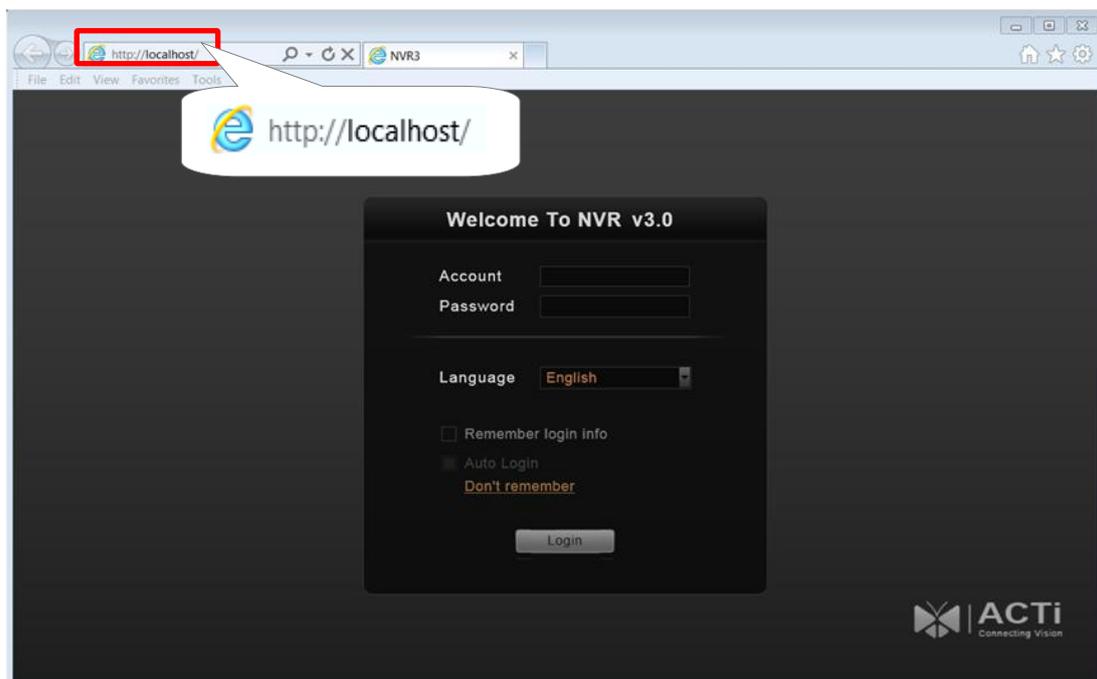
どちらのクライアントも同じユーザー インターフェースと機能を利用できます。Web クライアントは Windows のデフォルト ブラウザ、Internet Explorer を介して NVR 3.0 システムにアクセスできます。一方、ワークステーション クライアントはコンピュータにあらかじめ NVR3Workstation をインストールする必要があります。このセクションでは NVR 3.0 システムにアクセスするためのこれら 2 つの方法について説明します。

### Internet Explorer ブラウザから NVR 3.0 サーバーにアクセスする

NVR サーバーがインストールされているコンピュータは、サーバー コンピュータと呼ばれます。サーバー コンピュータと同じネットワーク内にある任意のコンピュータの Internet Explorer または NVR3Workstation からサーバーに直接アクセスできます。

#### サーバー コンピュータから

(NVR サーバー プログラムがアンインストールされた) サーバー コンピュータ上の NVR サーバーに接続する場合、ブラウザを開き、URL ボックスに <http://localhost/> または <http://127.0.0.1> と入力します。



#### 別のコンピュータから

別のコンピュータ上の NVR サーバーに接続する場合、IE ブラウザを開き、URL ボックスに <http://サーバー IP アドレス> と入力します。

## ログイン



### アカウントとパスワードの入力

NVR 3.0 システムでユーザー アカウントをセットアップしたシステム管理者から、アカウントとパスワード情報を入手してください。

- アカウント（大文字と小文字を区別しない）：**deckard kain**（例）
- パスワード（大文字と小文字を区別する）：**Aa123456**（例）

### UI 言語の変更

UI 言語を変更するには、「**Language - 言語**」ドロップダウン リストから希望の言語を選択します。

### ログイン情報を記憶する

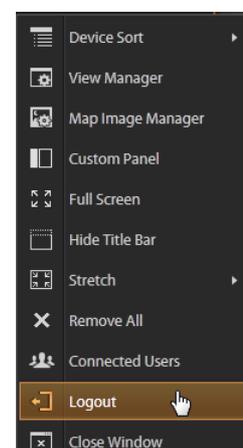
今後のためサーバーにログイン名、パスワードおよび言語設定を記憶させるには、「**Remember login info - ログイン情報を記憶する**」にチェックを入れます。「**Don't remember - 記憶しない**」をクリックすると、入力したテキストがクリアされてデフォルトにリセットされます。

### 自動ログインの設定

「**Remember login info - ログイン情報を記憶する**」、さらに「**Auto Login - 自動ログイン**」にチェックを入れると、今後このコンピュータからログインするたびにログイン ページをスキップして直接メイン ページを開くことができます。適切な権限のない他の人物がコンピュータにアクセスできる場合、これらの機能を使用しないでください。

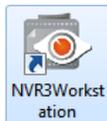
自動ログインをキャンセルするには、タイトル バー上で  → 「**Logout**

**NVR - NVR からログアウト**」をクリックしてログイン ページに戻ると、この機能はキャンセルされます。

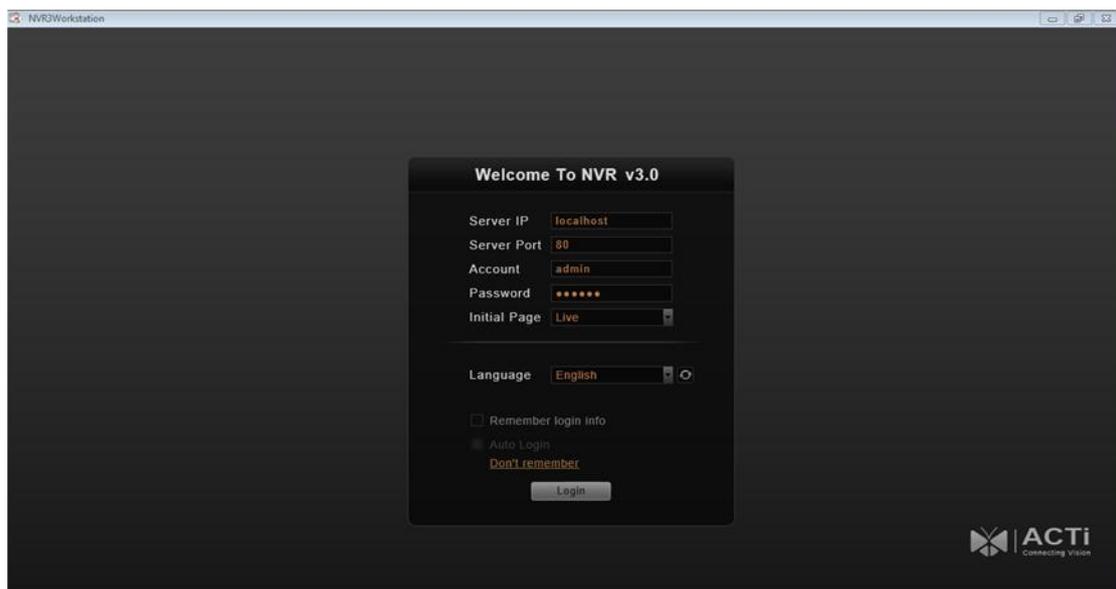


## NVR3 ワークステーションから NVR 3.0 サーバーにアクセスする

NVR3 ワークステーションにはユーザーと NVR サーバー間のインターフェースを提供する一連のプログラムが含まれています。NVR サーバーと同じコンピュータ、または別のコンピュータにインストールしてネットワーク経由で NVR サーバーに接続することができます。



デスクトップにあるショートカット アイコンをダブルクリックして、このワークステーション アプリケーションを実行します。



### ログイン

次のフィールドに入力してから「**Login - ログイン**」をクリックしてシステムにログインします。ワークステーションのログイン手順は、次の点を除き、Web ブラウザの手順とほぼ同じです（本マニュアルの[ログイン](#)セクション（11 ページ）を参照してください）。

### サーバー IP とサーバー ポート

- NVR サーバーと同じコンピュータ上に NVR3 ワークステーションがある場合、サーバー IP フィールドに **localhost** または **127.0.0.1** と入力します。別のコンピュータから接続している場合、サーバー コンピュータの IP アドレスを入力してください。例: **220.228.146.21**
- サーバー ポート フィールドに、デフォルトのポート番号である **80** と入力します。

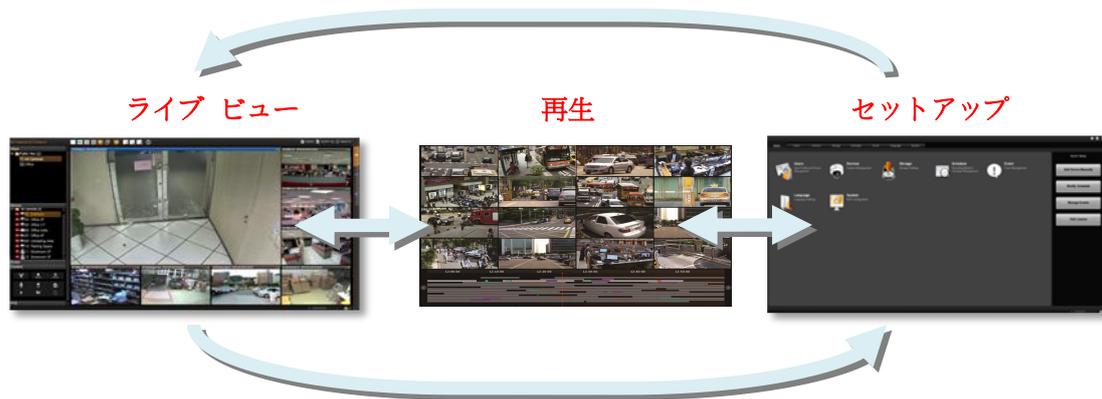
### 初期画面の選択



NVR 3.0 ユーザー インターフェースは、**ライブ ビュー**、**再生**、**セットアップ**の 3 つのメイン モジュール画面から構成されています。ログインした後、どの画面を開くか選択できます。デフォルトは**ライブ ビュー**画面です。

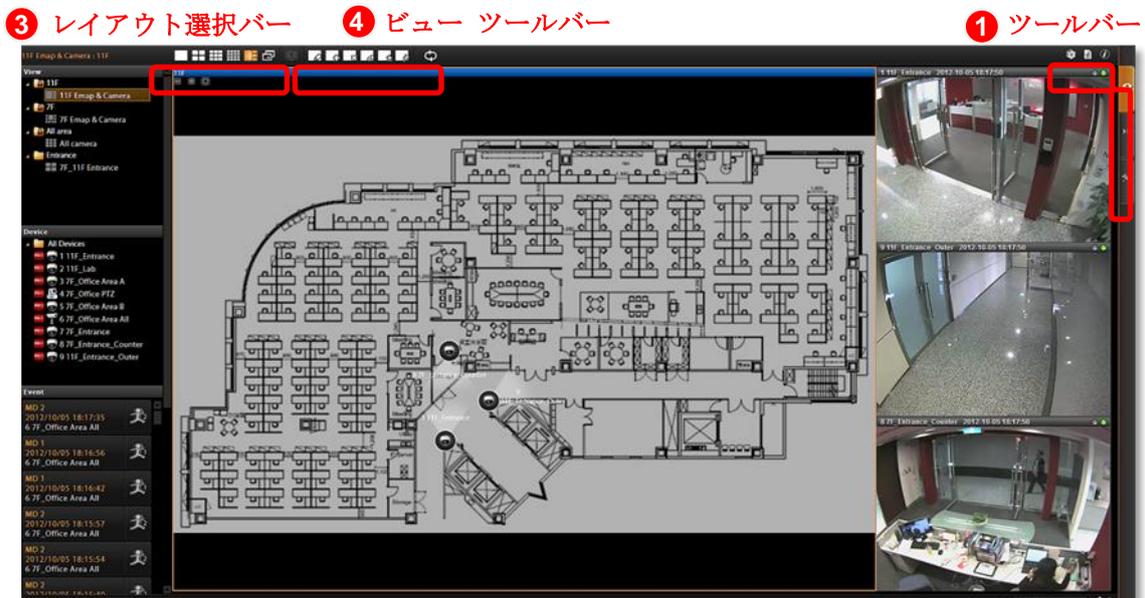
# NVR ユーザー インターフェースの概要

市販の一部 NVR システム製品ではユーザーに混乱を生じやすいツリー様構成が使用されていますが、NVR 3.0 は簡単なユーザー インターフェース構成によって時間を大幅に節約でき、ページ間の移動も容易です。システムにログインすると、あらゆる画面からライブ ビュー、再生、セットアップの 3 つのメイン機能モジュールのいずれかに切り替えることができます。



## NVR 常駐ツールバー

これら常駐ツールバーは NVR システムのあらゆる操作においてよく必要とされる重要な機能やリンクです。

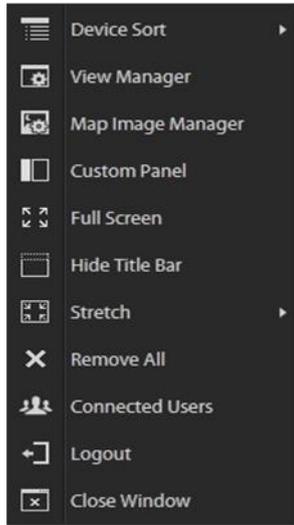


- 1 ツールバー: タイトル バー右側にはあらゆる画面で最も頻繁に使用される機能への 3 つのリンクがあります。

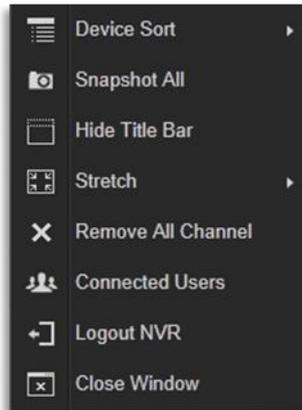


オプションは最も必要とされる便利な機能です。提供される機能は画面によって異なります。

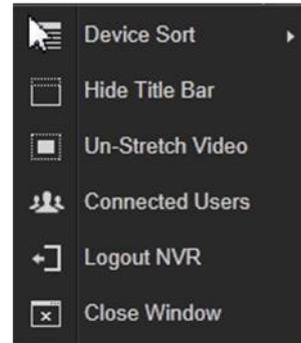
### ライブ ビュー画面



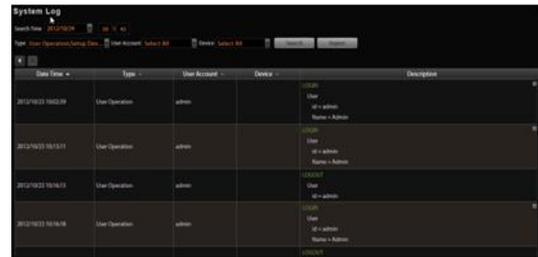
### 再生画面



### セットアップ画面



システム ログはこのサーバーにおけるユーザーの挙動記録を確認するための検索モジュールを提供します。これはユーザー権限にアクセスが許可されている場合のみ利用できます。



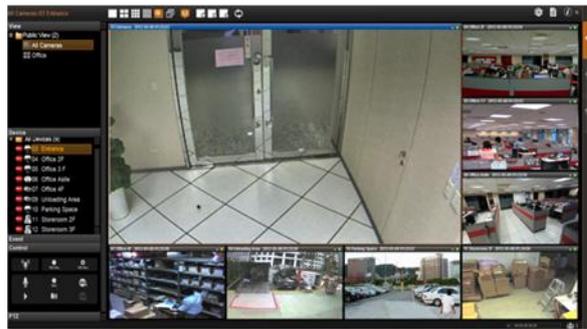
製品情報にはソフトウェアのバージョン番号と必要な ActiveX コントロールのバージョン番号が表示されます。ACTi サポート リンクも表示されることがあります。

- 2 NVR モジュール バーには、ライブ ビュー、再生、セットアップの 3 つのメイン モジュール画面が含まれます。ボタンをクリックして直接機能ページに入ることができます。
- 3 レイアウト選択バーにはライブ ビューと再生画面の 22 の異なるレイアウト スタイルがあります。
- 4 ビュー ツールバーにはライブ ビュー画面でビューの編集に使用する機能キーがあります。

## NVR メイン モジュール画面

モジュール バー上のオレンジ色のボタンをクリックして 3 つのメイン画面間を直接切り替えます。

### ライブ ビュー



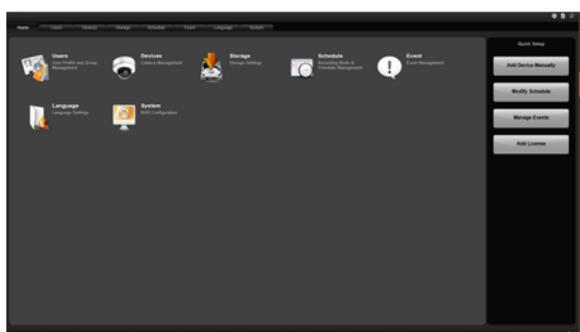
このモジュールではカメラやデバイスからのライブ ビューの表示、マウスやジョイスティックを使用した PTZ 操作の実行、システム ログの表示、イベント パネルでのアラート受信、ビュー レイアウトのセットアップ、手動録画またはスナップショット撮影などができます。

### 再生



このモジュールで既存の録画を見つけて再生することができます。同時に最大 64 チャンネルを再生することができます。再生ファイルからスナップショットまたはビデオ セグメントを取り出すことができます。ここで録画ファイルを AVI 形式でエクスポートすることもできます。

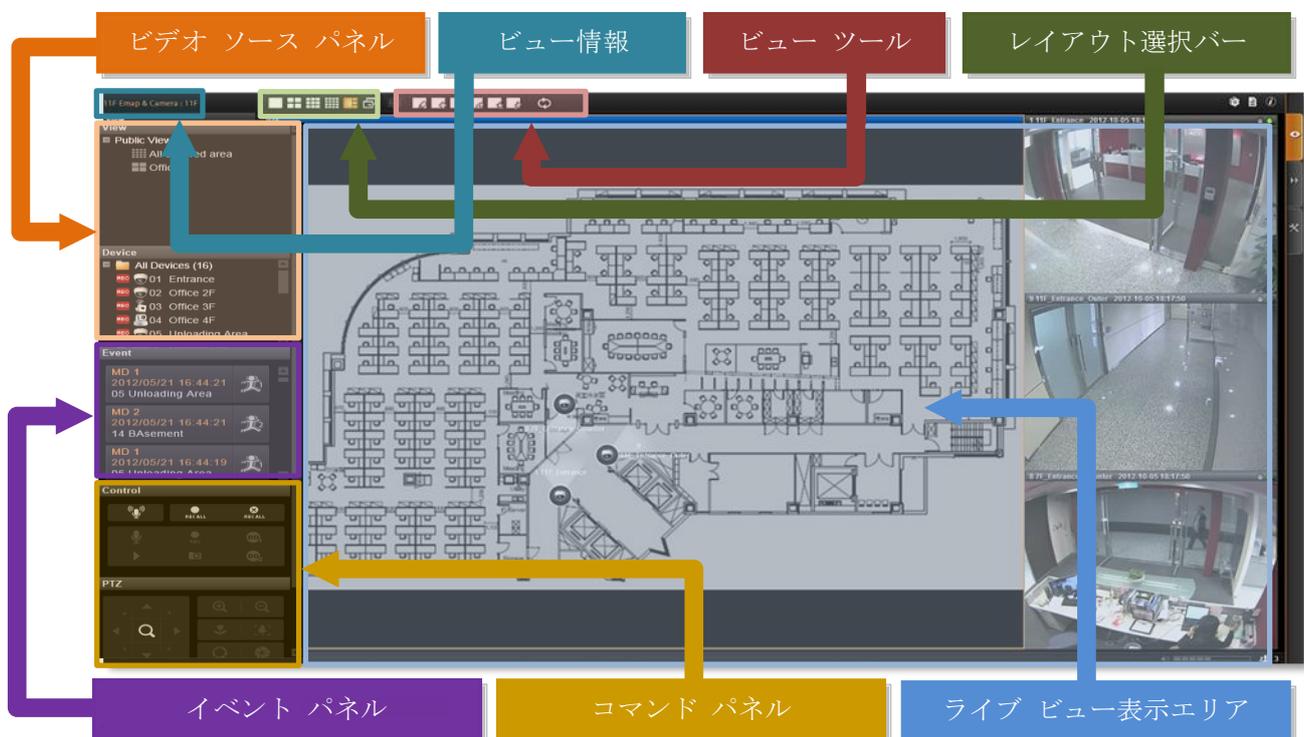
### セットアップ



このモジュールには、ユーザー セットアップ、デバイス セットアップ、イベント セットアップ、スケジュール セットアップ、システム全体設定が含まれます。

# ライブ ビュー

ライブ ビュー はカメラからのライブ ビューが表示されるインターフェースです。セキュリティ専門家のほとんどが監視システムにアクセスする場所です。ビデオに目を配るだけでなく、ビュー レイアウトの切り替え、画面へのさまざまなカメラのドラッグ & ドロップ、イベントのログ表示、スナップショット撮影、PTZ カメラの制御、特定のチャンネルの録画開始または停止、デジタル出力のトリガーおよび特定のカメラのブロードキャストまたはトークも行うことができます。このセクションでは、上述の基本的な操作方法について説明します。まず、ライブ ビュー タブをクリックしてライブ ビュー画面に入ります。



- **ビュー情報:** 次の情報が表示されます。[現在のビュー名][フォーカス チャンネル名]。
- **ビデオ ソース パネル:** ビュー リスト パネルとデバイス リスト パネルに、ライブ ビュー表示エリアに表示するビデオ ソースが 2 つのタイプ別に表示されます。
- **イベント パネル:** 検知された動体、システム異常、デバイスのステータスに関するアラートが表示されます。
- **ライブ ビュー コマンド パネル:** コントロール パネルと PTZ パネルには最もよく使用されるライブ ビュー操作コマンドがあります。
- **レイアウト選択バー:** 最大 22 の異なるレイアウト スタイルが提供されています。
- **ビュー ツールバー:** ここにあるボタンを使用して、ビューを作成・保存することができます。また、特定のレイアウトを割り当てて巡回を開始することもできます。
- **ライブ ビュー表示エリア:** このエリアに最大 64 のチャンネルを追加して同時監視を行うことができます。

## ライブ ビューを見る

システムにログインすると、ライブ ビュー画面に入ります。システム管理者または同僚によってデフォルトのレイアウトが設定済みの場合、ライブ ビューがすぐに表示され、デバイスやレイアウトの設定を行う必要なく、直接監視を開始できることがあります。

### ビューの選択

NVR 3.0 システムで、**ビュー**とは複数のデバイスのライブ映像が監視目的に合わせて適切に配置されたレイアウトを指します。これは、同じ物理的場所にある、または同じデバイス機能を持つ複数のカメラから構成される**カメラ グループ**とよく似ています。例えば、**一階**という名前のビューには、1階の監視エリアに実際に配置されているカメラが含まれることがあります。作成後、各カメラのビュー葉作成者によって選択されたレイアウト スタイル上の特定のチャンネルに割り当てられます。

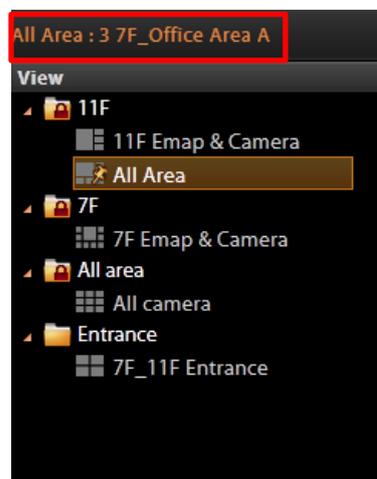
#### 注意事項

ユーザー グループの権限に基づき、次の権限の有無が決まります。

- **パブリック ビュー**または**プライベート ビュー**の作成、編集、削除
- 特定のビューをデフォルトのビューとして割り当てる
- すべての**パブリック ビュー**に含まれるカメラを見る

従って、一部のビュー編集機能が**ビュー ツールバー**にない場合があります。

保存されたビューを見るには、**ビュー リスト** パネルをクリックするだけです。



ビュー リスト パネルの上にタイトルが表示されます

[現在のビュー名]:デバイス名

- **パブリック ビュー**  はすべてのユーザーに開放されています。
- **プライベート ビュー**  はそれらを作成したユーザーのみ利用できます。ユーザー権限によって**プライベート ビュー**を所有する権限がない場合、このフォルダーが表示されないことがあります。
- **ピンが付いたビュー**  はシステム管理者によりデフォルト ビューとして設定されています。ログインすると毎回このビューが表示されます。

このビューが表示されます。

その他**ビュー**の作成と編集の詳細情報は、[NVR 3.0 管理者向けマニュアルのビューのカスタマイズの章](#)を参照してください。

## カメラの選択

個別のデバイスのライブ ビューを見るには、このデバイスのビデオ ストリームを識別し、表示エリアの空いたチャンネルに追加する必要があります。見ることができるデバイスはすべて左側の **デバイス リスト** パネルにあります。異なるデバイスを見る権限はユーザー グループによって定義されており、その詳細はシステム管理者によって管理されています。

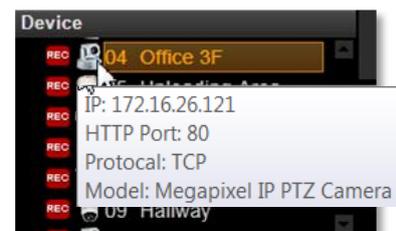
表示エリアにビデオ ソースを取り込むには:

**デバイス リスト** パネルから、デバイスをダブルクリックするか、**表示領域**にドラッグします。「**All Device - すべてのデバイス**」をダブルクリックすると、すべてのデバイスが**表示**エリアに追加されます。



## デバイス リスト

デバイス情報を表示するには、デバイスの図上にカーソルを置いて、情報ボックスを表示させます。



また、**デバイス リスト** パネルでは、デバイスを異なる順序に並べ替えることもできます。タイトル バーで  をクリックして、「**Device Sort - デバイスの並べ替え**」をクリックし、並べ替え方法を「**by IP - IP 順**」または「**by ID - ID 順**」から選択します。



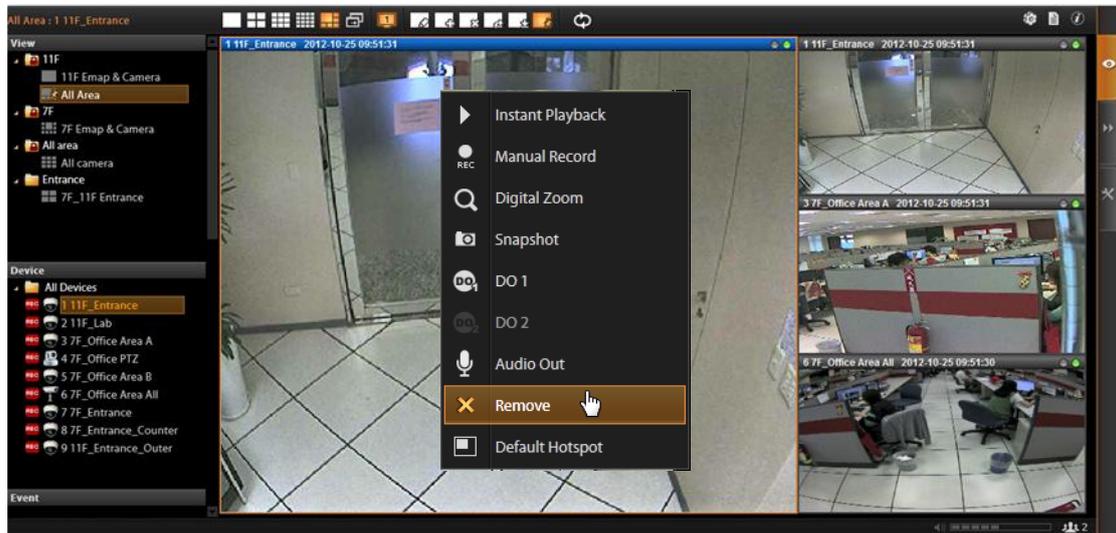
デバイス IP 順



デバイス ID 順 (デフォルト)

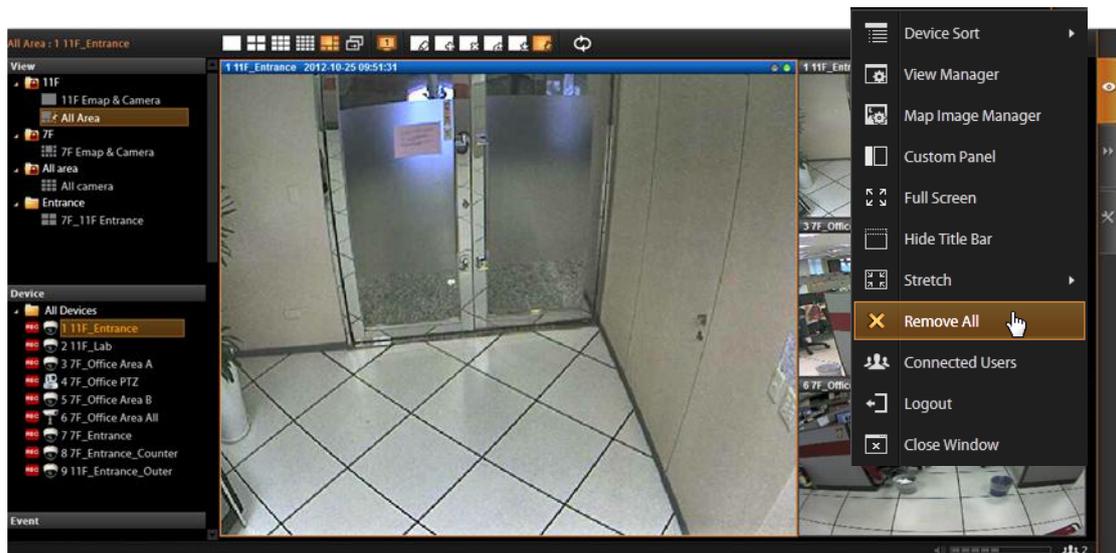
## チャンネルの削除

表示ウィンドウからチャンネルを削除するには、チャンネル上で右クリックしてクイックメニューを表示し、「**Remove - 削除**」を選択してこのビデオソースを削除します。



## すべてのチャンネルの削除

タイトルバーで  をクリックして、「**Remove All - すべて削除**」を選択すると、すべてのデバイスの接続を解除できます。



### ヒント

#### 全画面

システム タイトル バー上で  をクリックし、「**Full Screen - 全画面**」を選択すると、全画面モードになります。タイトル バー右上隅のアイコン  をクリックすると、標準モードに戻ります。

#### チャンネル ビューの拡大表示/拡大表示解除

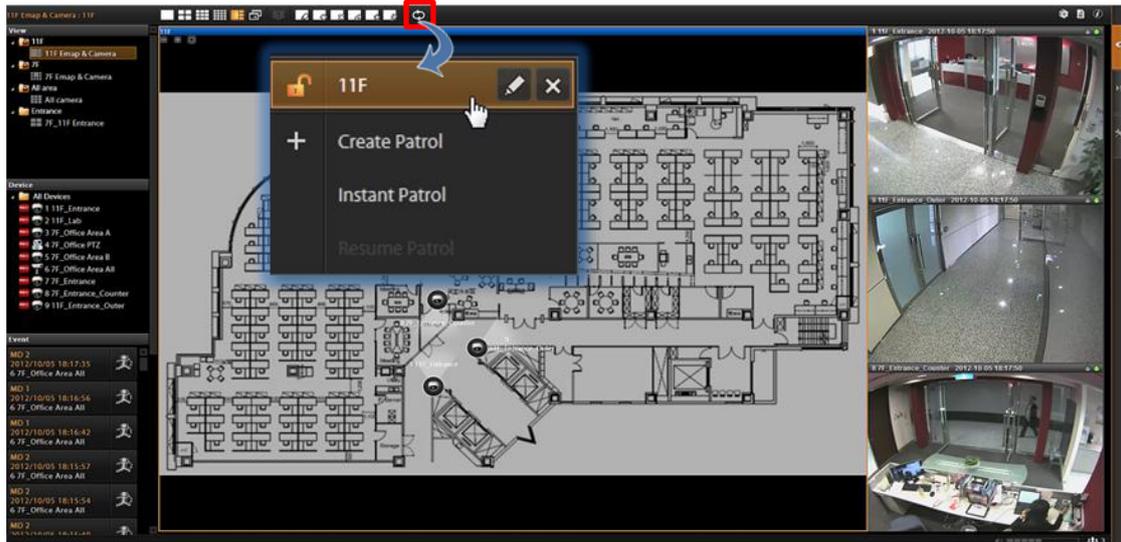
タイトル バーで  をクリックし、「**Stretch - 拡大して表示**」を選択すると、ビデオの幅をウィンドウに合わせて拡大できます。

## ビューの巡回を有効にする

ビューの順次巡回を保存することができます。そうすることで、現場内の異なるエリアのビューが自動的に循環表示されます。

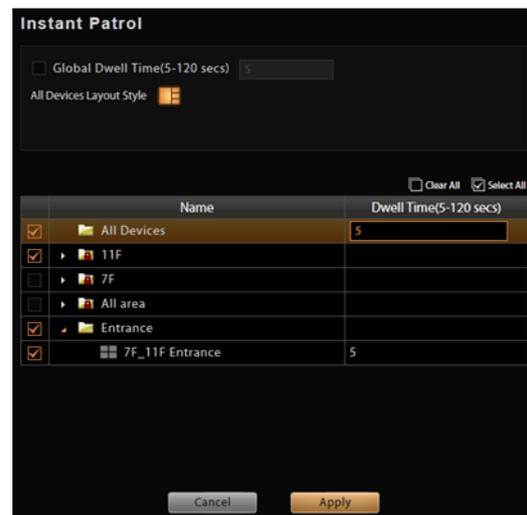
タイトル バーで  をクリックして保存された巡回を選択します。ライブ ビューで巡回が実行されているとき、 をクリックすると停止します。

現在のログイン中のみ一時的に有効になる**即時巡回**を作成することもできます。



即時巡回は次のように設定します。

1. ビュー間の**グローバル滞留時間**を定義します。個別のビューに対して異なる滞留時間を設定したい場合、このオプションにチェックを入れず、下の表で個別に設定を行います。
2. 巡回で表示する**ビュー**を選択します。ここで**すべてのデバイス グループ**を選択する場合、「**All Device Layout Style - すべてのデバイス レイアウト スタイル**」も選択する必要があります。
3. 「**Apply - 適用**」をクリックして設定を保存します。この巡回はすぐに実行が開始され、 がクリックされるまで継続されます。



## システムのモニタリング

監視において、セキュリティ モニタリングは現場全体のモニタリングまたは巡回、異常な状況の発見、または速やかな現場調査を必要とします。これらのタスクには NVR サーバー機能の活用に関する知識とスキルが要求されます。このセクションでは、NVR 3.0 サーバーで目標を達成するために不可欠な要素について説明します。

### システム アラートとチャンネル ステータスを知る

NVR ライブ ビュー画面では、システム ステータス イベントを観察することが不可欠です。停電やインターネット接続の中断など、予期せぬ環境要因や人の挙動が発生し、監視システムに影響を与えることがあります。NVR サーバーとデバイス間の接続が失われ、重要なビデオ証拠を失う可能性があります。

#### チャンネル ステータス

各チャンネル ウィンドウのタイトル バーにはこのデバイスに関する特定のステータス情報が表示されます。



#### インジケータ

チャンネル タイトル バー右上の 2 つのインジケータの色は、次のステータスを表します。

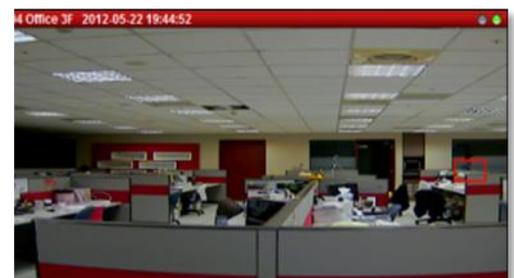
##### ●右側

-  : デバイスが接続され、ビデオを受信している
-  : デバイスが接続されていない
-  : デバイスが接続されているが、ビデオを受信していない

##### ●左側

-  : 手動録画実行中
-  : スナップショット撮影中

ビデオ モーション、PIR モーション、またはデジタル入力デバイスなどのイベントによってこのデバイスがトリガーされると、チャンネル タイトル バーがしばらく赤色になり、何らかの動体が検知されたことを警告します。システム管理者の設定に基づき、特定のデバイスがトリガーされたとき、「Beep - ビープ」音によるアラートが提示されることがあります。



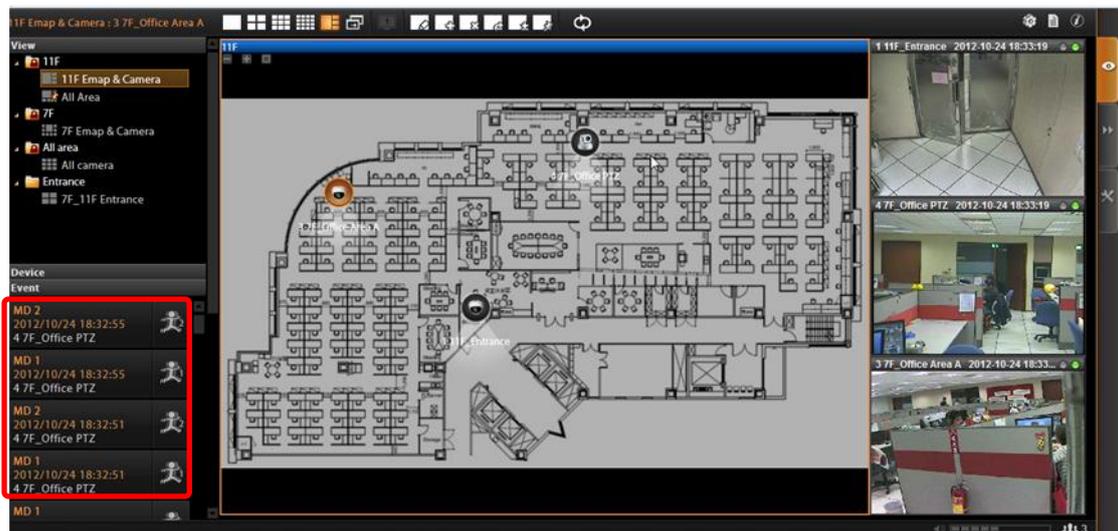
## NVR 3.0 ユーザー マニュアル

マップ チャンネルで、ビデオ モーション、PIR モーション、またはデジタル入力デバイスなどのイベントによってこのデバイスがトリガーされると、デバイス アイコン横のイベント アイコンが数秒間点滅します。  
 デバイス アイコンをクリックすると、マップ上でミニ ライブ ビュー ウィンドウが表示されます。



### イベント パネル

常にイベント パネルに表示されるメッセージを確認することが重要です。これらのメッセージは逆時系列順に（最新のものが一番上に、最も古いものが一番下に）並べられています。



メッセージは次のデバイスまたはシステムのステータスについて通知します。

モーション名	MD 2
日付および時刻	2012/05/23 15:06:09
デバイス名	05 Office 4F

- |   |   |   |
|---|---|---|
|  検知されたモーション    |  ビデオ復旧     |  ファイルの削除に失敗しました    |
|  トリガーされたデジタル入力 |  ビデオ ロス    |  敗れました             |
|  PIR 入力        |  ネットワーク復旧  |  ディスクの空き容量が不足しています |
|   |  ネットワーク ロス |  ディスクが見つかりません      |
|   |   |  ディスクが見つかりません      |

### 重要な注意事項

ビデオ取得のため、またはディスクに問題があるため、NVR サーバーがデバイスに接続できない場合、全体環境における一時的なネットワーク切断に起因することがあります。問題が修正された後、接続が回復される場合があります。回復しない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

## 即時イベント再生

これらのタイプのイベント メッセージのうち、モーション（ビデオ モーション、DI または PIR）イベント、または送信ステータス イベント（ビデオ復旧およびロス、ネットワーク復旧およびロス）のイベント再生を個別に見ることができます。

即時イベント再生ウィンドウを開くには、イベント エントリをダブルクリックします。

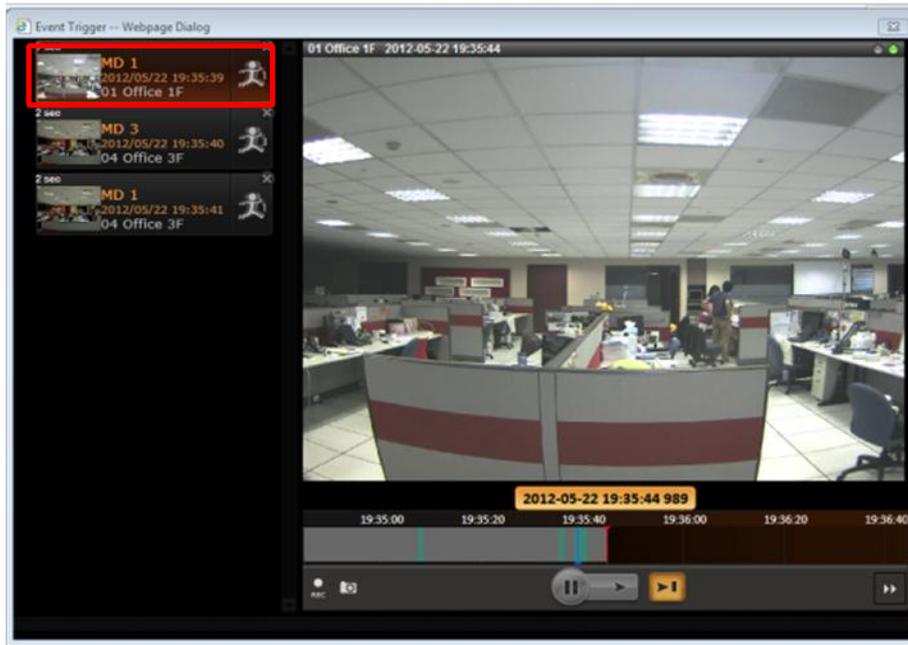


ウィンドウが開き、すぐにライブ ビュー ストリームの再生が開始されます。時刻バーを前後に動かし、検索することができます。

- ビデオ再生は  を、一時停止は  を、ライブ ビュー ビデオの再生は  をクリックします。
- 時刻バーで、青色のマーク  またはイベントの発生を示す  をクリックしてから、 をクリックしてこのイベントを再生します。
- 現在再生中のビデオを手動で録画するには、 をクリックします。
- このビューのスナップショットを撮影するには、 をクリックします。
- 再生画面に切り替えるには、 をクリックします。
- 閉じるときはウィンドウ タイトル右上の  をクリックします。

## ポップアップ イベント再生

特定のカメラ設置場所で検知されたイベントについて通知するため、即時イベント再生ウィンドウが自動的にポップアップすることがあります。特定の重要スポットは他のチャンネルより優先順位が高いため、システム管理者がこの「**Pop-up Event Window - ポップアップ イベント ウィンドウ**」機能をこれらのカメラに適用することがあります。そうすることで、これらの重要なイベントが能動的に表示されます。



ウィンドウの左側には同じ期間内に検知された一連のモーションが一覧表示されることがあります。任意のエントリをダブルクリックしてそのライブ ビューを表示したり、イベントを再生することができます。このウィンドウはしばらくすると自動的に閉じますが、その後もこれらのイベントをイベント パネルで確認することができます。

## ホットスポット ウィンドウ

ライブ ビュー画面で、左上ウィンドウに本来のチャンネルに代わりデバイス ビデオが表示されることがあります。これは、特定の重要スポットで検知されたイベントの優先順位が他のチャンネルより高いためです。見ているビューに関わらず、監視者の注意を引くために、それらのカメラで検知されたイベントがこのウィンドウに一時的に表示されます。

ライブ ビュー画面でその他任意のチャンネルをデフォルトのホットスポット チャンネルに設定することができます。希望のチャンネルを右クリックして、「**Default Hotspot - デフォルトのホットスポット**」を選択します。



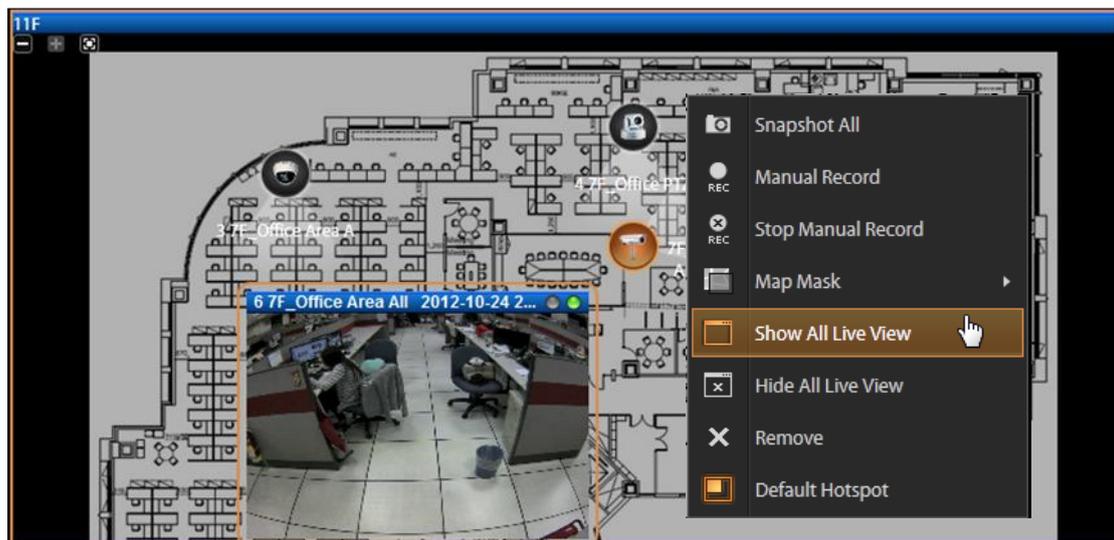
## ライブ ビューの操作

単に見るだけでなく、NVR サーバーはより多くのタスクを実行するためにたくさんのメリットを提供します。例えば、音声機能を使用してカメラ側の人々と通信したり、PTZ デバイスで現場のより詳細を調査したりすることができます。

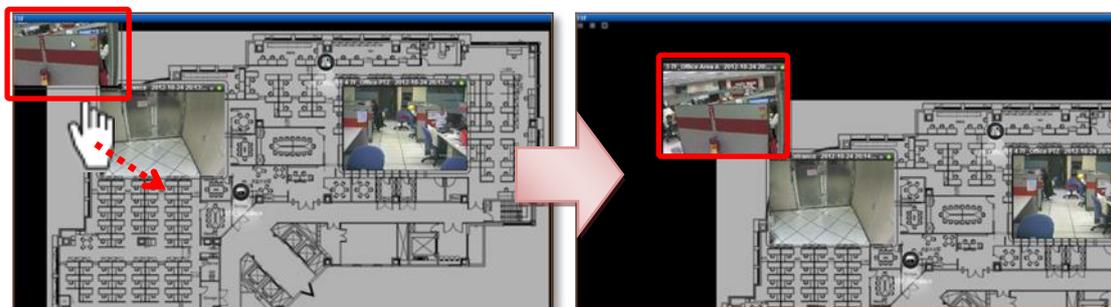
### マップ上でミニ ライブ ビュー ウィンドウを表示する

マップ チャンネル上の全デバイスのミニ ライブ ビュー ウィンドウを開いてこのマップ上で何が起きているか概要を確認することができます。

- デバイス アイコンをダブルクリックすると、そのライブ ビュー ウィンドウが開きます。
- マップ チャンネル上で右クリックして「**Show All Live View - 全ライブ ビューの表示**」を選択します。



ビューの外にミニ ウィンドウが表示された場合は、マップ上の任意の場所にドラッグし、ウィンドウが見えるようになるまで画像を移動します。

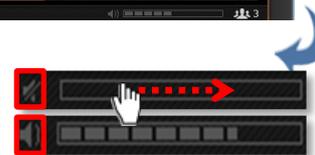


## 音声入力の音量を調節する

1 台以上のカメラがマイクなどの音声入力デバイスに接続されている、または双方向の音声機能に対応している場合、音声信号がビデオ ストリームとともに記録されます。リアルタイムの音声を**ライブ ビュー**画面で聞いたり、録音された音声を**再生**画面で聞くことができます。チャンネルが選択されると、**ライブ ビュー**で NVR サーバーが音声信号を送信します。音声入力音量コントロールは**ライブ ビュー**画面の右下にあります。



- チャンネルの音声をミュートするには、 をクリックします。
- チャンネルの音声を有効にするには、 をクリックします。
- 音声の音量を調節するには、音量メーターをドラッグします。

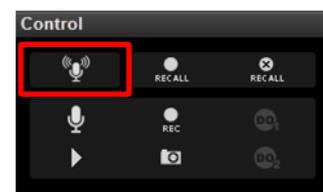


## 音声信号の送信

● あるカメラに接続されたスピーカーを通して聞いている人に話しかけるには、チャンネルを右クリックして**クイック メニュー**を開き、「**Audio Out - 音声出力**」を選択します。このアイコンがオレンジ色で表示されている場合、音声出力が有効にされており、クライアント コンピュータ上のマイクで拾われる音がすべてこのカメラのみに送信されます。



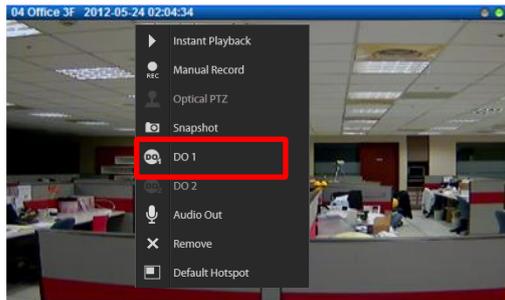
- 複数のカメラに対してブロードキャストするには、**ライブ ビュー**コントロール パネルの  をクリックします。現在のビューでスピーカーに接続されているすべてのチャンネルに対して音声を送信されます。



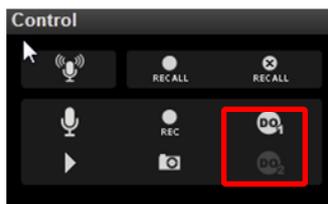
## デジタル出力デバイスのトリガー

カメラがドア コンタクトや警報装置などのデジタル出力デバイスに接続されている場合、NVR サーバーによりライブ ビュー画面でトリガーすることができます。次のいずれかを行います。

チャンネルを右クリックしてクイック メニューを開くと、対応する DO デバイスが接続されている場合、DO アイコンが表示されます。トリガーするには「DO - デジタル出力」をクリックし、トリガーを停止させるにはもう一度クリックします。



- チャンネルを選択したら、ライブ ビュー コントロール パネルで  をクリックし、トリガーを停止させるにはもう一度クリックします。

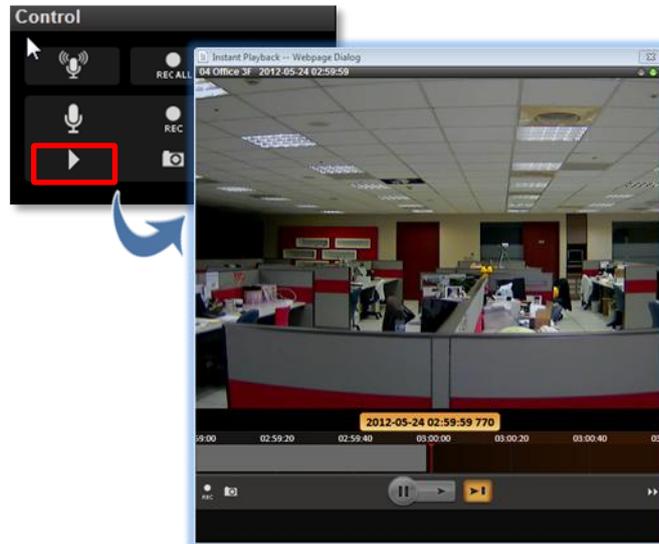


### 注意事項

DO をトリガーして音声を特定のデバイスに送信する機能は、単一のカメラ チャンネルでのみ利用できます。マップ チャンネルで、このビュー内の全デバイスに対して「**Audio Broadcast - 音声放送**」を行うこともできます。

## チャンネルの即時再生を見る

ポップアップ ウィンドウを**ライブ ビュー**に表示して任意のチャンネルを再生して見ることができます。再生画面に切り替える必要はありません。チャンネルを選択したら、**ライブ ビュー コントロール** パネルで  をクリックします。



## 手動録画

**ライブ ビュー**画面でリアルタイム ビデオを手動録画することができます。このビデオは**再生画面**でのみ検索可能です。このクリップを見付けるには、**再生画面**に切り替えます（方法については本マニュアルのセクション、[フィルタリングによる検索](#)（37 ページ）を参照してください）。

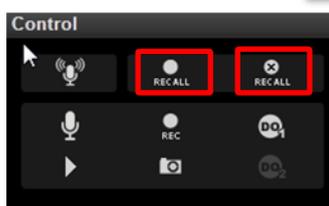
手動録画を行うには、次のいずれかを行います。

- チャンネルを右クリックしてクイック メニューを開き、「**Manual Record - 手動録画**」を選択します。

録画が開始されると、チャンネル タイトル バーの左側のインジケータが赤色になります。録画を停止するには、クイック メニューの「**Manual Record - 手動録画**」をもう一度クリックします。



- 現在のビューの全チャンネルを手動録画するには、**ライブ ビュー コントロール** パネルで  をクリックして開始し、 をクリックして停止します。



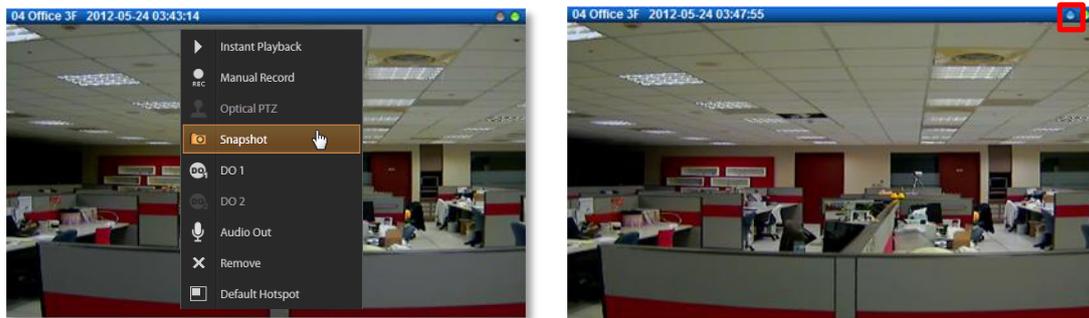
## ライブ ビュー映像のスナップショットを撮影する

ライブ ビュー画面でチャンネルのライブ映像のスナップショットを撮影できます。スナップショットはクライアント コンピュータのデフォルトのフォルダーに .jpg 形式で保存されます (システムによるデフォルトの場所は **Windows デスクトップ**となっています)。スナップショット撮影後、NVR ウィンドウの下部に保存場所のパスが表示されます。

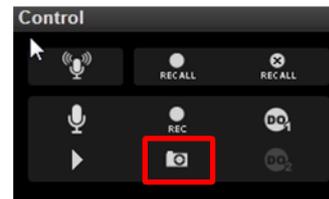
Snapshot to: C:\Users\Wen.Cheng\Desktop\Channel01\_20121024184041\_759.jpg

スナップショットの撮影は、次のいずれかの方法で行います。

- チャンネルを右クリックしてクイック メニューを開き、「**Snapshot - スナップショット**」を選択します。スナップショット撮影中、チャンネル タイトル バーの左側のインジケータが青色になります。撮影完了後、インジケータは灰色になります。



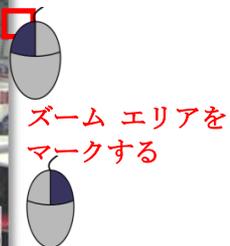
- チャンネルを選択したら、**ライブ ビュー コントロール** パネルで  をクリックし、スナップショットを撮影します。



## デジタル PTZ

デバイスのモデルに関わらず、**ライブ ビュー**画面でデジタル ズームを行うことができます。

1. 任意のチャンネル上でハイライト表示された矩形をクリックしてドラッグすると、ハイライト表示されたエリアが全画面のライブ ビデオ ウィンドウに表示されます。このモードでは、PIP (映像の重ね合わせ) ビューがライブ ビュー ウィンドウの右下に表示されます。赤い矩形は現在全画面で拡大されているビュー エリアを示します。赤い矩形を画像上でドラッグし、別のエリアをズーム表示することができます。
2. 元の全画面ビデオ表示に戻すには、最小化表示された PIP ビューを右クリックします。



ズーム エリアをキャンセルする

## PTZ パネルからの光学 PTZ (パン/チルト/ズーム) 操作

現在のビューに光学パン/チルト/ズーム機能をサポートしているカメラがある場合、PTZ パネルからそれらを操作できます。

### デジタル/光学ズーム切り替え

クリックして PTZ モードをデジタル PTZ  と光学 PTZ モード  間で切り替えます。PTZ デバイス以外ではデジタル PTZ モードしかありません。

### ズーム コントロール

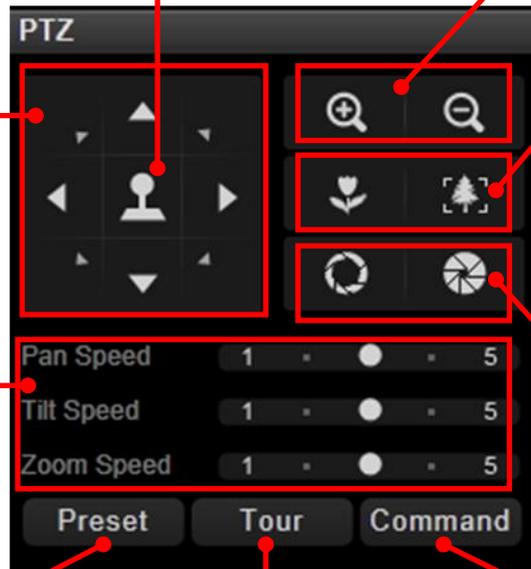
カメラにコントロール可能なズームが搭載されている場合、これら 2 つのボタンでズームインまたはズームアウトをコントロールできます。

### 8 方向 PTZ ナビゲーション コントロール

クリックして PTZ の動作をコントロールします。

### パン/チルト/ズーム速度コントロール

速度計をクリックして PTZ 動作の速度を定義します。



### フォーカス コントロール

カメラにコントロール可能なフォーカスが搭載されている場合、これでカメラのフォーカスを変えます。

### アイリス コントロール

カメラにコントロール可能なアイリスが搭載されている場合、これら 2 つのボタンでアイリス レベルを調整できます。



### プリセット メニューにジャンプ

プリセット ポイント名をリストから選択し、その場所にジャンプします。タイトル「Goto Preset - プリセットにジャンプ」をクリックしてメニューを閉じます。

### プリセット ツアー メニュー

リストからツアー名を選択し、PTZ ツアーを開始します。ツアーを停止するには、「Stop - 停止」をクリックします。タイトル「Preset Tour - プリセット ツアー」をクリックしてメニューを閉じます。

### PTZ コマンド メニュー

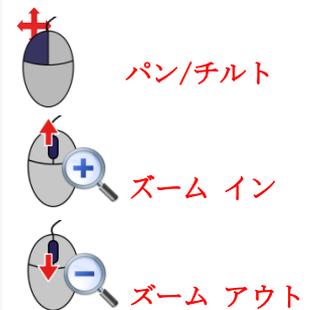
リストからコマンドを選択し、特定の操作コマンドを実行します。タイトル「PTZ Command - PTZ コマンド」をクリックしてメニューを閉じます。

## チャンネルの光学 PTZ (パン/チルト/ズーム) ナビゲーション

マウスを使用してチャンネル ビューまたはマップ上のミニ ライブ ビュー ウィンドウの PTZ ナビゲーションを実行することもできます。

チャンネル上にマウスを配置し、次の PTZ 操作を行います。

- 光学パンおよびチルトを実行するには、ライブ ウィンドウの任意の場所をクリックしてカメラをその方向に動かします。方向インジケータの長さはパンおよびチルト速度に比例します。中央から遠くにカーソルを配置するにつれて、パン/チルト動作の速度が速くなります。
- 光学ズーム インまたはズーム アウトを実行するには、マウス ホイールを前にスクロールするとズーム イン、マウス ホイールを後ろにスクロールするとズームアウトすることができます。



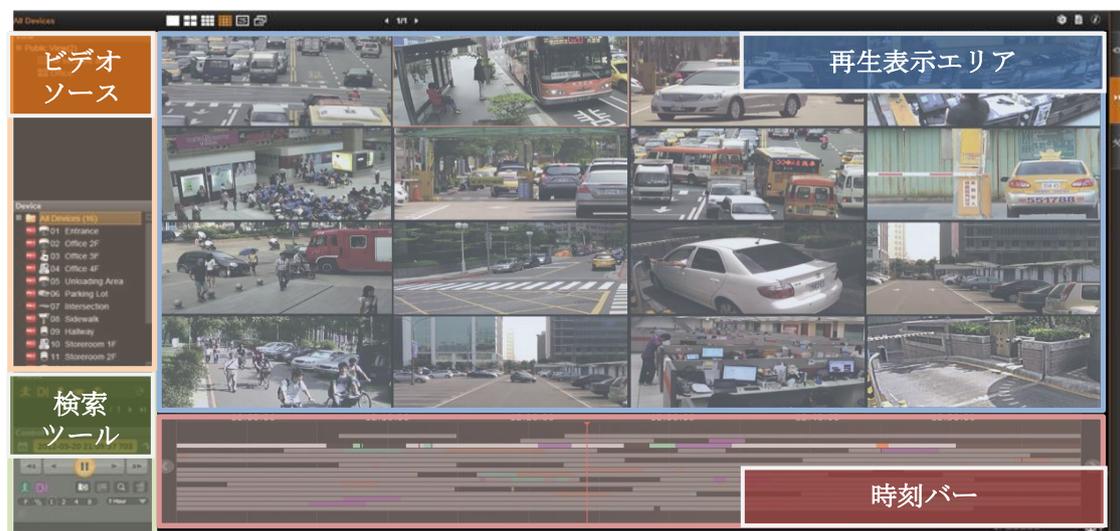
# 再生

**NVR 再生**は録画されたクリップを処理する NVR モジュールです。Archive Player でビデオの検索、再生、エクスポートができます。再生は最大 64 チャンネルの同時再生を含むことができます。ビデオ クリップも RAW または AVI 形式のいずれかでエクスポートできます。

## 再生 UI の紹介

再生画面には次の 4 つの機能エリアがあります。ビデオ ソース、再生表示、時刻バー、検索パネルです。

- **ビデオ ソース** エリア: 保存されたビューとデバイス ツリーの両方を提供し、ビューまたはデバイスを**再生表示**エリアにドラッグして録画を見ることができます。
- **再生表示**エリア: このエリアで最大 64 チャンネルを同時再生できます。
- **時刻バー** エリア: **再生表示**エリアのビデオ ソースの時刻バーがここに表示されます。時刻バーをドラッグして希望の時間点まで前後に動かすことができます。
- **検索ツール** エリア: **検索結果**と**コントロール** パネルがここに表示されます。再生コントロール、検索ツール、エクスポート オプションが**コントロール** パネルにあります。検索結果はサムネイルで**検索結果**に表示され、イベント フィルタと改ページを通して簡単に全体を見ることができます。



## 再生方法

NVR 画面で「再生」ページをクリックして再生ビューに入ります。初めにビデオ ソースは何も選択されておらず、希望のチャンネルを選択する必要があります。

### ビデオ ソースの追加

ビデオ ソースを取り込む方法は 2 つあります。

1. ビュー エリアで、保存されたビューをクリックします。
2. デバイス リスト パネルから、デバイスをダブルクリックするか、表示エリアにドラッグします。

どちらの方法でもビデオ ソースを追加でき、時刻バー エリアにそれらの時刻バーが表示されます。再生操作と検索はこれらの選択されたチャンネルに基づきます。

また、タイトル バーのレイアウト選択バーからレイアウト スタイルを変更できます。



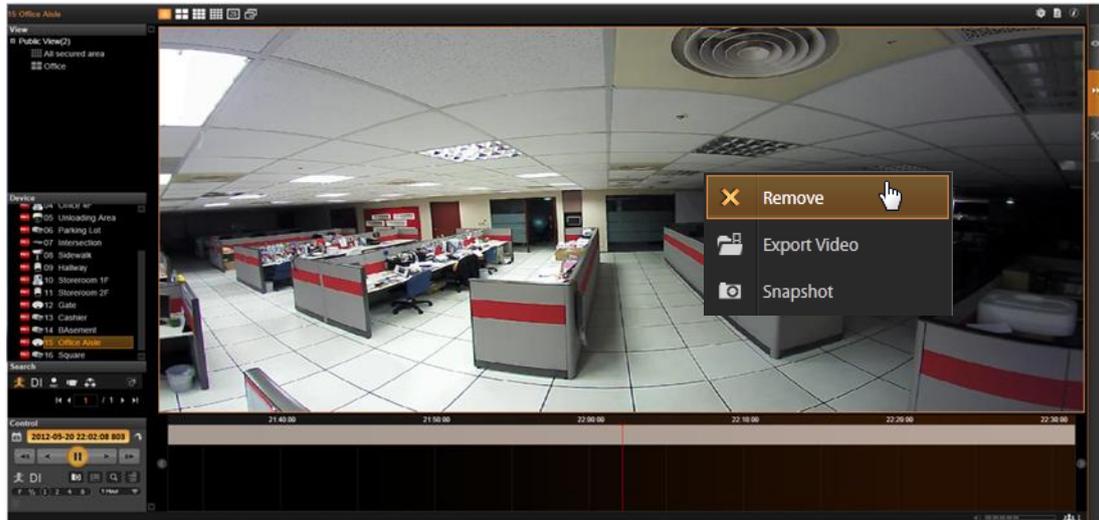
### 不要なチャンネルの削除

検索したときに不要な結果が多く反映されては不便なため、表示エリアには希望のチャンネルのみ残しておけば十分です。

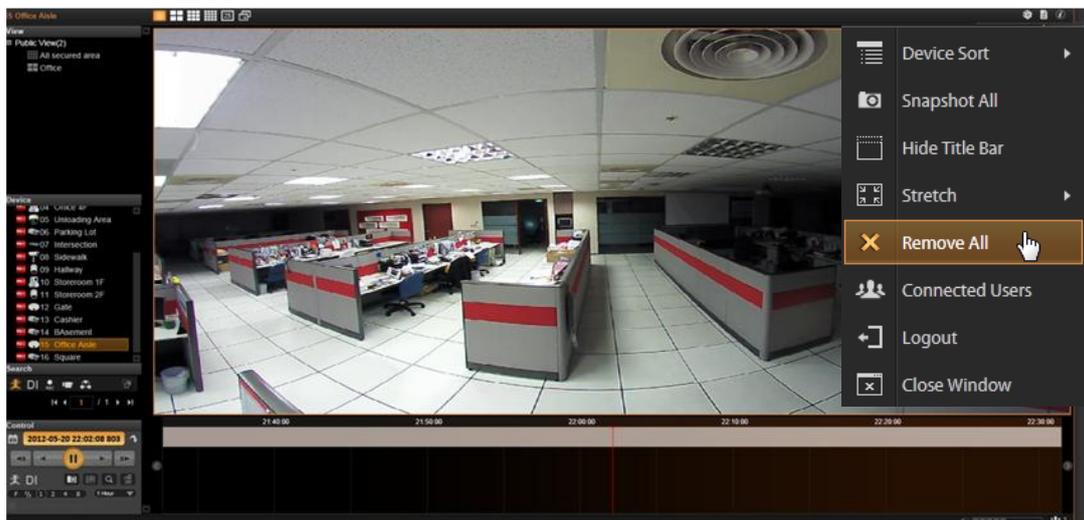
チャンネルを表示エリアから削除するには、チャンネル上にカーソルを置き、マウスを右クリックして、メニューを右クリックすると、1 つのチャンネルに対して「Remove - 削除」、「Export Video - ビデオのエクスポート」および「Snapshot - スナップショット」の操作を行うことができます。

#### 注意事項

マップ チャンネルのビューは録画されません。従って、時刻バーまたは再生用の録画はありません。



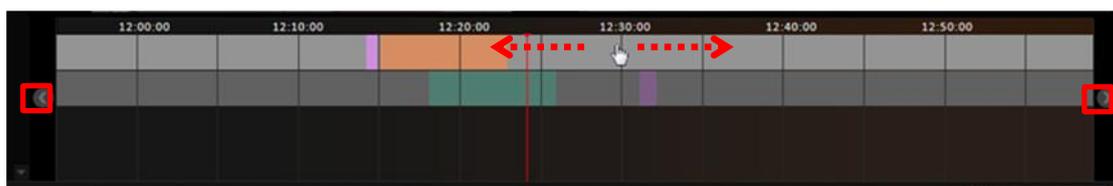
一度にすべてのチャンネルを削除するには、タイトルバーで  をクリックして最も使用頻度が高い再生関連のコマンドメニューを開き、「**Remove All - すべて削除**」を選択します。



## 時刻バーでの検索

検索の基礎として特定のチャンネルを選択することができます。その時刻バーもハイライト表示されます。

1. 特定の後の時間点を見付けるには、カーソルを左にドラッグします。
2. 特定の前の時間点を見付けるには、カーソルを右にドラッグします。
3. 前の時間セクションに移動するには  を、次の時間セクションに移動するには  をクリックします。

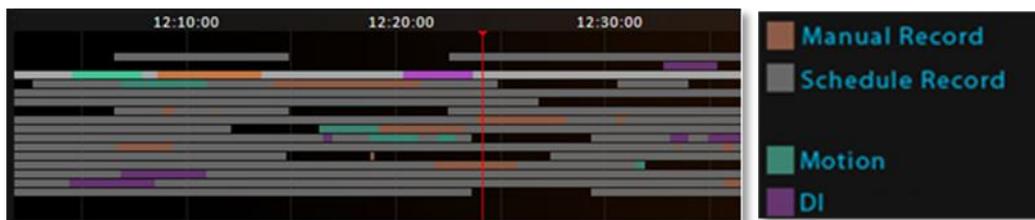


### イベント タイプの表示

デフォルトで、「Manual - 手動」録画はオレンジ色で表示され、「Schedule - スケジュール」録画は灰色で時刻バーに表示されます。特定のイベントをハイライト表示するには、「Event - イベント」と「DI - デジタル入力」イベント ハイライタをコントロール パネルで有効にします。



### イベント タイプのハイライト色



### 再生コントロール

再生関連のコントロールはコントロール パネルにあります。ビデオ再生速度の調整、再生の巻き戻し / 早送り、またはビデオの一時停止を行い、希望のビューを見付けます。非連続録画タイプ (DI、イベントまたは手動録画) については、「Previous Recording - 前の録画」または「Next Recording - 次の録画」ボタンを使用して直接その部分にジャンプできます。



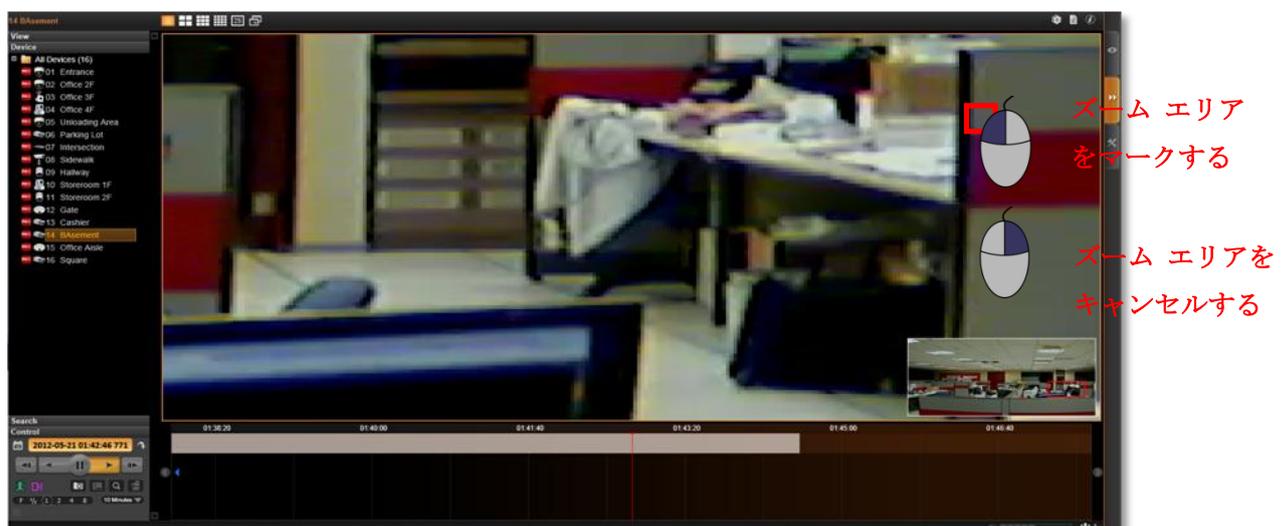
### 夏時間機能をオンにする

NVR サーバーはクライアント コンピュータのローカル時刻を検出してライブ ビューおよび再生画面に表示します。コンピュータに夏時間規則を適用すると、NVR サーバーはコントロール パネルで自動的にこの機能を有効にします。再生を協定世界時に従って表示する場合、この機能を無効にすることができます。

## 再生でのデジタルズーム

デバイスのモデルに関わらず、ビデオの再生中にデジタルズームを行うことができます。

1. 任意のチャンネル上でハイライト表示された矩形をクリックしてドラッグすると、ハイライト表示されたエリアが全画面のライブビデオウィンドウに表示されます。このモードでは、PiP（映像の重ね合わせ）ビューがライブビューウィンドウの右下に表示されます。赤い矩形は現在全画面で拡大されているビューエリアを示します。赤い矩形をクリックしてドラッグし、別のエリアを見ることができます。
2. 元の全画面ビデオ表示に戻すには、最小化表示された PiP ビューを右クリックします。



## フィルタリングによる検索

インシデントが (1) いつ (2) どのイベント タイプとして (3) どこで発生したか明確な場合、時刻バーをその場所までドラッグする必要はありません。検索フィルタで条件を満たすビデオクリップを見付けることができます。

1. コントロール パネルで、 をクリックして**検索**フィルタ設定ウィンドウを表示します。



2. 条件を設定します。
  - **期間**を設定します。  
開始日/時刻と終了日/時刻を入力します。最長期間は **3日**です。
  - **イベント タイプ**を設定します。  
ハイライト表示するイベント タイプ ボタンをクリックします。選択されたイベントタイプのみ結果に表示されます。
  - **デバイス タイプ**を設定します。  
デバイス名をクリックして選択します。
3. 「**Apply - 適用**」をクリックして検索を開始します。

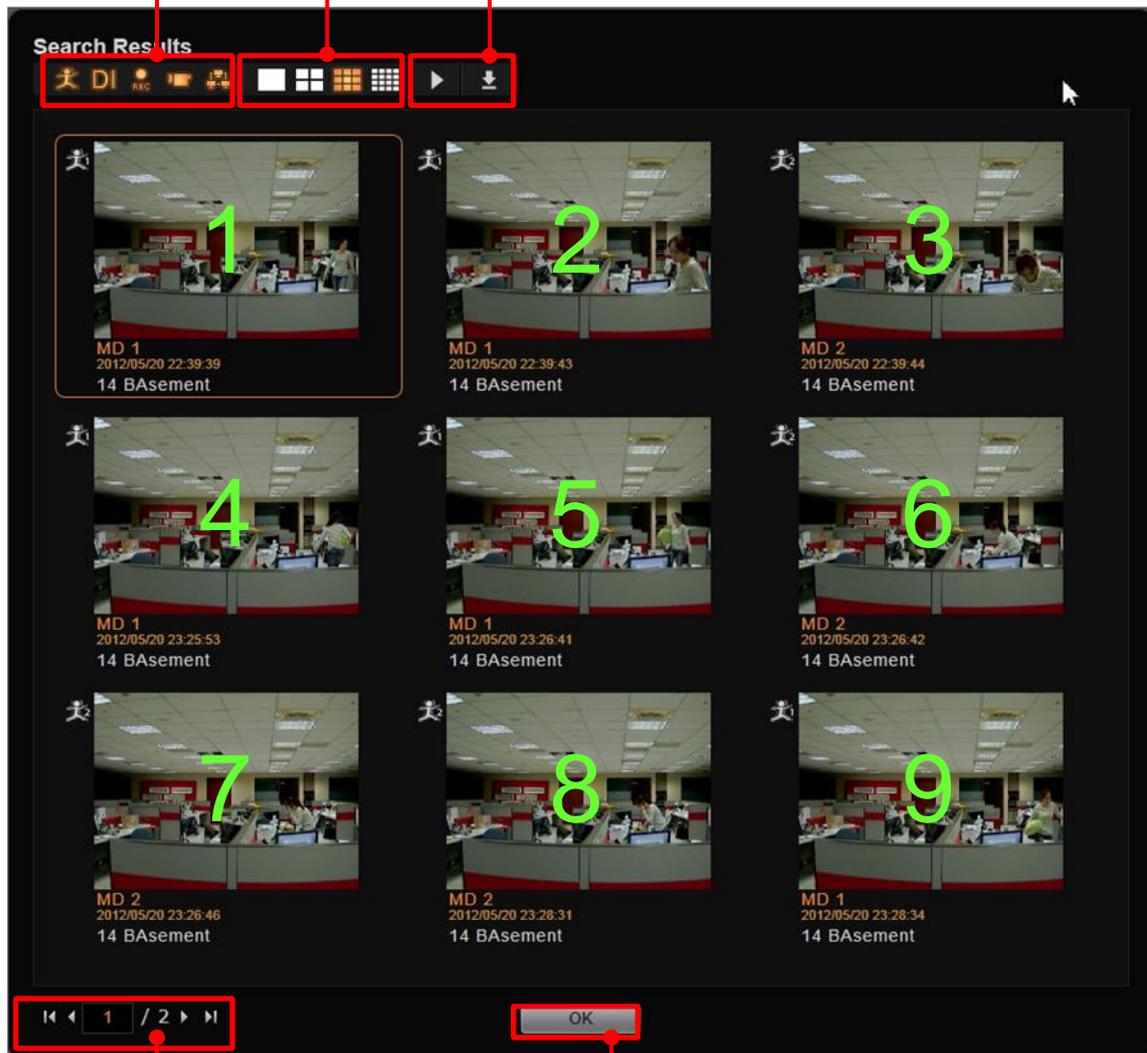
## 検索結果の表示

検索結果が**検索 結果**ウィンドウにサムネイルで生成されます。しかし、多数の結果が見つかった場合数秒間かかる場合があります。サムネイルは左から右に、上から下に、発生した順序で表示されます。

異なるイベント タイプ フィルタを有効にして高度な並べ替えを行うことができます。

異なるサムネイルのレイアウトを選択

特定のビューを選択し、この録画を再生したり、このスナップショットをダウンロードしたりすることができます。



すべての結果が検出されるまで、ページ番号が増加します。このアイコン  は検索がまだ進行中であることを表します。

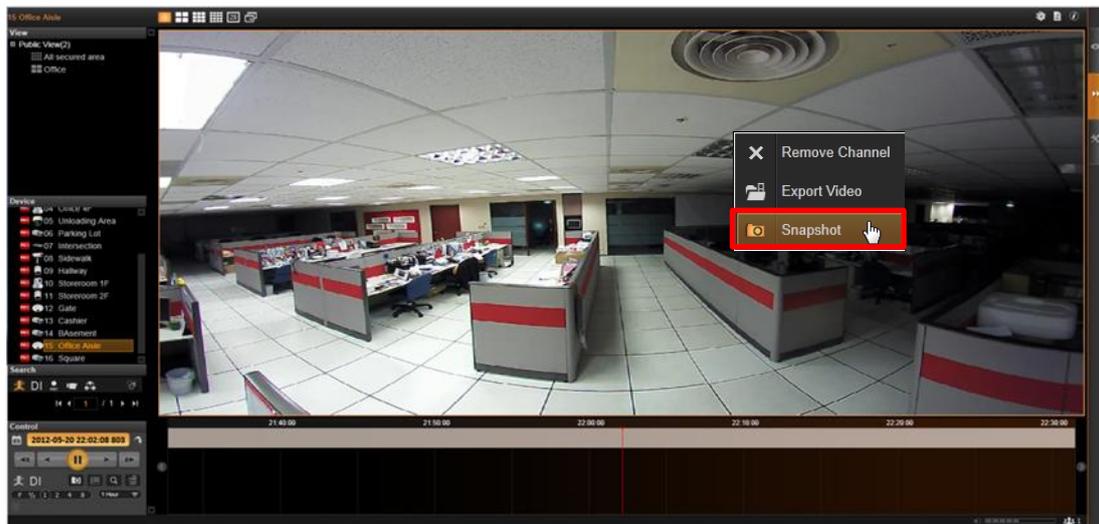
クリックして再生画面に切り替えます。

前回実行した検索結果は左画面の**検索パネル**に保持されます。再生を見ながら、同時に特定の結果のビューを選択することができます。

## 再生ビューのスナップショットを撮影する

再生中に選択したチャンネルのスナップショットを NVR サーバー コンピュータに保存することができます。

1. チャンネルを選択し、マウスを右クリックしてクイック メニューを開き、「Snapshot - スナップショット」 をクリックします。



2. 選択したチャンネルのスナップショットを撮影するには、コントロール パネルで  をクリックします。



ライブ ビュー画面でチャンネルのライブ映像のスナップショットを撮影できます。スナップショットはクライアント コンピュータのデフォルトのフォルダーに .jpg 形式で保存されます (システムによるデフォルトの場所は **Windows デスクトップ**となっています)。スナップショット撮影後、NVR ウィンドウの下部に保存場所のパスが表示されます。

Snapshot to: C:\Users\Wen.Cheng\Desktop\Channel01\_20121024184041\_759.jpg

## 録画のエクスポート

NVR 再生機能はエクスポートするビデオに 2 つのビデオ形式のオプションを提供しています。ビデオ ソースからキャプチャされたオリジナルのビデオ ファイル形式である **\*.raw** ファイルは、**ACTi Archive Player** で再生することができます。このユーティリティは、次の場所からダウンロードできます。 <http://www.acti.com/utility>

Windows システムで最も広く採用されている動画形式の **\*.AVI** ファイルは、NVR サーバーによって即時に転送し、直接 **Windows Media Player** で再生することができます。

ビデオのエクスポートを開始する前に、エクスポート先のコンピュータのハード ドライブに十分な記憶領域があることを確認してください。

エクスポートされた **\*.AVI** ファイルを別のビデオ プレイヤーで再生するには、コンピュータに **FFDShow** または **DivX** コーデックがインストールされている必要があります。インターネットの次のサイトにあります。

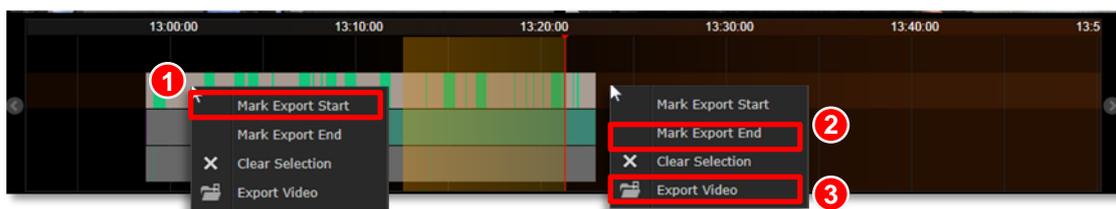
<http://sourceforge.net/projects/ffdshow/>

<http://www.divx.com/en/software/divx-plus/codec-pack>

### 時刻バーでエクスポートされたビデオのセクションを定義する

再生中に時刻バー上でビデオの期間を定義することができます。そうすることで、特定の日付と時刻情報を見付けるために時間と労力を費やす必要がなくなります。

1. 時刻バーで、ビデオの開始点にドラッグし、右クリックしてクイック メニューを開き、「**Mark Export Start - エクスポート開始点としてマーク**」を選択します。
2. 開始点を設定した後、別の点にドラッグすると期間が黄色で表示されます。終了点までドラッグし、右クリックしてクイック メニューを開き、「**Mark Export End - エクスポート終了点としてマーク**」を選択します。

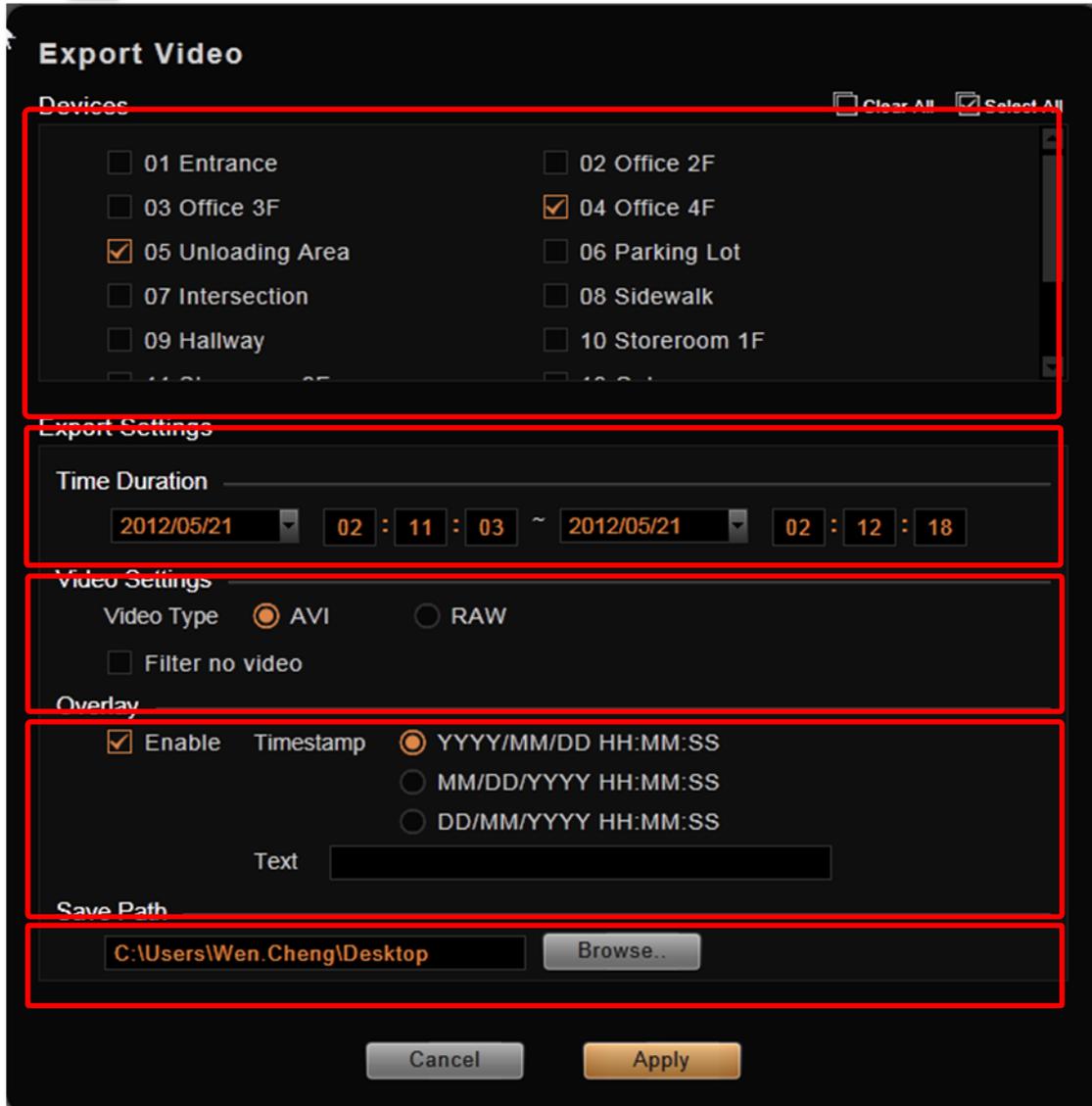


3. 開始点と終了点を設定した後、再度右クリックしてクイック メニューを開くと、これら 2 つのオプションがすでに灰色で表示されていることが分かります。「**Export Video - ビデオのエクスポート**」を選択します。

シナリオによっては、最初に終了点、その後開始点を設定する場合があります。

## ビデオ エクスポート設定を設定する

事前に期間を定義済みでもしていなくても、エクスポート設定ウィンドウですべての設定を構成できるため、ビデオをエクスポートできます。ウィンドウを開くには、コントロールパネルで  をクリックします。



**Export Video**

Devices  Clear All  Select All

<input type="checkbox"/> 01 Entrance	<input type="checkbox"/> 02 Office 2F
<input type="checkbox"/> 03 Office 3F	<input checked="" type="checkbox"/> 04 Office 4F
<input checked="" type="checkbox"/> 05 Unloading Area	<input type="checkbox"/> 06 Parking Lot
<input type="checkbox"/> 07 Intersection	<input type="checkbox"/> 08 Sidewalk
<input type="checkbox"/> 09 Hallway	<input type="checkbox"/> 10 Storeroom 1F

Export Settings

Time Duration

2012/05/21 02 : 11 : 03 ~ 2012/05/21 02 : 12 : 18

Video Settings

Video Type  AVI  RAW

Filter no video

Overlay

Enable Timestamp  YYYY/MM/DD HH:MM:SS  
 MM/DD/YYYY HH:MM:SS  
 DD/MM/YYYY HH:MM:SS

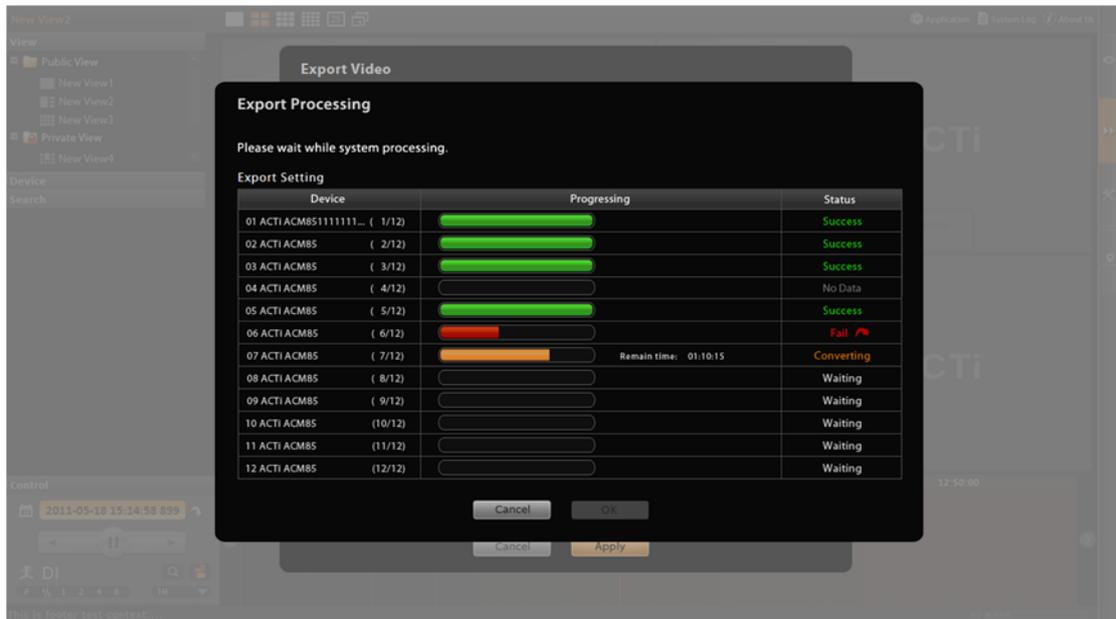
Text

Save Path

C:\Users\Wen.Cheng\Desktop

1. デバイスを選択します。1 台を超えるデバイスを選択した場合、複数の録画が取得できます。
2. 期間を設定します。最短は **10 秒間**で、最長は **1 時間**です。（個別の録画の合計容量が **2 GB** を超える場合、ファイルが分割されます）。
3. ビデオ形式を選択し、ビデオの空白をスキップするには「**Filter no video - 空白のフィルタリング**」機能を有効にします。
4. 必要に応じてオーバーレイ テキストを設定します。テキストの最大文字数は **40 文字**です。
5. このエクスポートされたビデオは現在ご利用のクライアント コンピュータに保存することができます。保存場所を選択してください。デフォルトで、ファイルはデスクトップに保存されます。

6. 「Apply - 適用」をクリックしてファイルの変換とエクスポートを開始します。エクスポート処理ウィンドウが表示されます。各デバイスの処理済み/合計ビデオ クリップ数がデバイスの列に表示されます。また、各デバイスのビデオ ファイルの残り処理時間も表示されます。



処理のステータスには、成功、変換中、待機中、データなし、失敗の 5 種類があります。録画の中の特定の部分にビデオ データが存在しない、といったことが起こり得ます。ステータスに「Fail - 失敗」と表示されている場合、ディスク ドライブにビデオ ファイルに使用できる十分な領域がない可能性があります。領域を確保してから、再度  をクリックしてこのエクスポート タスクを再実行してください。

	No Data
	Success
	Fail
Remain time: 01:10:15	Converting
	Waiting